

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

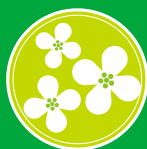
2011
平成23年

8.15

太陽いっぱい！
元気いっぱい！

目次

「しみの広場」	2
広報サポーターカメラリポート	
あかばね塾	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらしティニュース	7
連載コーナー	8
お知らせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターカメラリポート……………2ページ
- あかばね塾「エコ・オリエンテリング」……………3ページ
- 地域の話題（衣笠校区・鎌田町内会）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

ハッチョウトンボの里

「黒河湿地植物群落」

皆さんこんにちは。広報サポーターの河合です。今回は、愛知県の天然記念物に指定されている黒河湿地植物群落（大久保町）をご紹介します。



河合



●ハッチョウトンボのメス



●湿地の入口



★黒河湿地植物群落

●黒河湿地植物群落（大久保町）

愛知県における「植物群落」としての天然記念物指定の第1号。シデコブシやヤチャナギ、シラタマホシクサなどの貴重な植物が数多く群生し、沼地には、ハッチョウトンボやサンショウウオなども生息しています。



●トウカイコモウセンゴケ（右上は花）

自然豊かな湿地

緑に囲まれた黒河湿地の入口を通っていくと、そこには一面に希少な植物が広がっていました。私がここに来た一番の目的は、ハッチョウトンボ。あの小さく可憐な姿をカメラに収めるためでした。

しばらく探すと、お目当てのハッチョウトンボを発見しました。ハッチョウトンボは日本一小さなトンボといわれ、きれいな水の湿地にすむ昆虫です。鮮やかな赤色がオス、茶色がメスで、体長2cmほどです。アンペライという湿地に生える多年草の上で羽根を休めていました。

次に青い実と赤い植物を発見しました。青い実はシデコブシの実で、熟すと果皮が自然にパカッと割れて赤い種子が見えます。シデコブシの自生地は東海三県にのみ分布し、湿



▲シデコブシの実

原や溪流沿いなどの限られた場所に生える貴重な植物で、愛知県絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

赤い植物はトウカイコモウセンゴケで、葉の色の鮮やかな赤色が特徴です。栄養分の少ない湿地に生える食虫植物で、葉の表面にある腺毛から出る粘液で虫をとらえて消化吸収し、水分は地中から毛細管現象によって供給されるそうです。トウカイコモウセンゴケは、ちょうどピンク色の小さな花を咲かせていました。

守りたい豊かな自然

このように、黒河湿地には、シデコブシやヤチヤナギなど全国的に見て希少な樹木や植物があり、絶滅危惧種や準絶滅危惧種に指定されているものもあります。自然と共存していく中で、それぞれが個体群として生存していけるように、環境を整えたり保全したりしていかなければならないと思います。

この湿地では、これから秋にかけて、シラタマホシクサを見ることができると、四季折々の植物を楽しむことができます。ぜひ皆さんも、足をお運びください。

田原市の自然は本当に貴重で、素晴らしいですね。



▲寒冷地の植物である落葉小木ヤチヤナギが、温暖な渥美半島で生息しているのは非常に珍しい



●ビーチクリーンの様子



●5カ所設けたチェックポイント

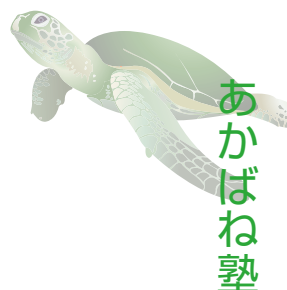


●ウミガメの放流

参加者たちは、赤羽根市民センターから赤羽根口パークまでの約3kmを、チェックポイントを通りながら2時間かけてまわりました。海岸では漂着したさまざまなごみを拾い、集められたごみは2トントラックに約10台分。皆さんのおかげで、赤羽根の海がきれいになりました。ご協力ありがとうございました。

また、オリエンテering終了後には、名古屋港水族館のご協力により、アカウミガメの放流会を行いました。大切そうにウミガメを海に放す参加者たちの姿が見られました。

皆さんこんにちは。私たち「あかばね塾」は、平成4年からウミガメの調査保護活動やビーチクリーンアップなどに取り組んでいます。今回は、7月31日(日)に開催した「エコ・オリエンテering in 赤羽根」をご紹介します。



あかばね塾

投稿 ウミガメが来る浜辺を守ろう

「エコ・オリエンテering」

市民発!

田原市広報サポーターの「めだか」です。常春の渥美半島から、田原市のイベント情報やオスメスポット、おいしい話題やどうでもいい話題などいろんなことを、いち市民の目線から楽しくつぶやいています。

おかげで、少しずつフォローワーさんも増えてきました。ぜひ皆さんも、フォローしてくださいね♪



● ID「KahoTahara」
● ツイッターアドレス <http://twitter.com/#!/KahoTahara>

広報サポーター
ツイッターなう!

めだか



▲コミュニケーションの場となっている定期清掃



▲自然の中に集合住宅などが点在する鎌田地区

地域の話題

衣笠校区(鎌田町内会)

まちをきれいに！

「安心安全 みんなで築こう 住みよい衣笠」を目標に、快適な生活空間の創造を目指す衣笠校区の鎌田町内会から、地域の清掃活動についてお便りが届きました。



鎌

田地区は、市営西鎌田住宅と東滝頭住宅を中心に、住宅地と農地が混在した地域です。近くに衣笠小学校があり、通学路の安全確保が課題となっています。また、区内を流れる庄司川にはゲンジボタルが生息しており、自然の保護も大切なテーマです。

毎月美化活動を実施

鎌田町内会では、毎月第2日曜日に、環境美化活動を行っています。また、年2回粗大ごみの収集や市道の草刈りも行います。

衣笠校区がまちづくり推進計画を策定するとき（平成18年）に行ったアンケート調査では、実に75%の方が、地域活動としてごみ拾いに参加しているという結果でした。

集合住宅のごみ事情

7月10日（日）の清掃活動には、住民約140人が参加しました。梅雨明けの暑い日差しの中、住宅周辺の定期清掃に加え、市道の草刈り、粗大ごみの回収も行いました。刈った草は、2トントラック4台分にもなりました。

集合住宅の入居者には、高齢の方や独居の方も多く、粗大ごみを出すこともままなりません。そのため、町内会として、年2回粗大ごみを回収し、資源化センターへの搬入を行っています。

支え合いで住みよい地域に

鎌田町内会の定期清掃は、住民の理解の下、浸透した活動となっています。



●粗大ごみ回収の様子

ます。集合住宅が多いと、ややもすれば隣近所のお付き合いや助け合いが希薄になってしまいがちですが、こうした活動を通じて、地域コミュニティの基盤がしっかりと保たれていると感じます。

また、新しい住民にとっても、地域に親しみ、関心を持つきっかけとなるのではないのでしょうか。

これからも、住民の連帯感と支え合いをつなげ、もっと住みよい地域となるよう、活動を続けていきたいと考えています。

「取材・構成」衣笠校区まちづくりアドバイザー 荻部・林田



市民活動を応援するページ



市民活動レポート

NPO たはら広場

図書館で何ができる？ 図書館を核とした市民活動

● H23田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業

中央図書館が誕生して、今年で9年目。この図書館は、準備段階から市民と行政と一緒に創り上げたことで、全国でも名が知られています。NPO たはら広場では、利用者（市民）の立場で、図書館の潜在能力を引き出す活用法を探っています。その一環として、図書館からより多くの情報を手に入れるための講座を企画しました。

7月18日（月・祝）、中央図書館において、第1回講座『心の健康情報に出会う』を開催しました。「心が健康なとき、心が辛くなったとき、どんな本に出会えるだろうか」というテーマで、アメリカで社会福祉学を学んだ石井あゆみさん（田原市出身）や豊田図書館長から、図書館の具体的な活用方法と心の健康にちなんだ本を紹介していただきました。また、実際に図書館内を巡り、心の健康情報に出会えるエリアを案内されました。図書館には、まだまだ多くの活用法があります。以下の予定で講座を開催しますので、ぜひご参加ください。



講座開催の予定

9/3 土 14:00 ~ 15:30	本に出会う（その2） こども図書館活用法／親子で「楽しい図書館」	ゲスト◎読み聞かせボランティア・くぬぎの会・田原市学校図書館司書 & 児童担当司書	場所：田原文化会館 201 会議室 対象：子ども・保護者／15 組まで 参加費：500 円（1 組）
H24/1/29 日 14:00 ~ 16:00	食の健康情報に出会う 「食」いかに食するべきか？～健康は健口から～	ゲスト◎平野晴康氏（田原歯科クリニック 医院長）・レファレンス担当司書	場所：田原文化会館 201 会議室 対象：一般／20 名まで 参加費：500 円（1 人）

申込み・問い合わせ NPO たはら広場 副代表理事：小澤美穂子 ☎080-6955-2167 ✉info@taharahiroba.or.jp

※メールでの申込み可。中央図書館カウンターでも受け付けます。

市民提案

あなたの市民活動に補助金を活用しよう！

「市民協働まちづくり事業補助金」の二次募集が行われます。

市民の連帯や地域振興、市民公益活動の促進を目的に、田原市が交付している補助金です。市民感覚の自由な発想で、創意工夫を凝らした事業をご提案ください。

- 対象事業 市内で市民に対して実施され、公共性・公益性が期待される「福祉」「まちづくり」「環境保全」「子どもの健全育成」などの活動で、平成24年2月末日までに完了するもの
- 対象団体 市内で公益活動を行う5名以上で構成された団体
- 補助額 1事業につき補助対象経費の2分の1（上限20万円）
- 募集期間 9月20日☎まで ※午後5時15分必着
- 応募方法 市民協働課で配布する申請用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出。申請用紙や応募の手引きは市ホームページからもダウンロード可（<http://www.city.tahara.aichi.jp/>）
- 審査方法 書類審査および公開審査会（10月上旬予定）での提案説明
- その他 制度の内容、申請書の書き方など応募に関するご相談を、市民活動支援センター（開設日は下段を参照）で受け付けています。
- 応募・問い合わせ先 市民協働課 ☎23局3504 ☎23局0180 ✉kyoudou@city.tahara.aichi.jp



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPO や市民活動に関する相談を受け付けています。（毎週☎・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース）

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ：☎22局1111（内線812）※ 開設時間のみ ☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールリポート

SCHOOL REPORT 37
学校生活の
一コマを紹介

今回は、中学校での親子ふれあい活動の様子と、飼育活動を通して命の教育を進める小学校の様子をお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局3679

福江中学校「親子ふれあい活動」

「ふれあい、で親子の絆を深めよう！」

福江中学校では、毎年5月に各学年で「親子ふれあい活動」を行っています。

今年度は、1年生が親子共同のレクリエーションを体育館で行い、2年生と3年生は、それぞれ福江小学校体育館と渥美運動公園屋内競技場で、エンカウンターを取り入れた親子ゲームを行いました。中学生になると、親子で触れ合う機会が少なくなりますが、この活動をきっかけに家庭での親子の絆を深めています。参加した保護者からは、「来年はもっと子どもと楽しめるものがやりたい」など、意欲的な意見が寄せられています。この行事が好評なのは、PTA学年委員の皆さんが中心となり、企画運営をしているおかげだと思います。これからも、伝統的な行事の一つとして続けていきたいと考えています。

※エンカウンター…カウンセリングの一形態。作業・ゲーム・討議をしながら、心のふれあいを深めていく方法。



●子どもたちの大きくなった背中を実感



●親子で一緒にフラフープリレーに挑戦！



●毎日きれいに掃除をしています



●みんなでウサギを優しく抱っこ！

童浦小学校「飼育活動」

命を大切にする心を育てよう！

童浦小学校では昨年度、「魅力ある学校づくり事業」で、ウサギと鳥を飼育する「みやま小屋」を整備しました。

動物たちの飼育当番は4年生です。世話を始めたばかりの4月は、動物を怖がって近づけない子もいましたが、慣れてくると餌やりや掃除などを手際よくできるようになりました。毎日世話をするのは大変ですが、命ある動物を育てる経験は、子どもたちにとって大切なことだと思っています。

3月には、ウサギに待望の赤ちゃんが2羽生まれました。4年生の子どもたちが、小さな命を守ろうと大事に世話をしてくれたおかげで、順調に育っています。「みやま小屋」には、低学年の子も入って、4年生にウサギの抱き方を教えてもらいながら、楽しそうに動物と触れ合っています。飼育活動を通して、子どもたちに命を大切にする心が大きく育っています。



▲出航式に出席した大村秀章愛知県知事など関係者とツアー参加者たち



▲廃食用油を使って「エコキャンドル」を作る子どもたち



▲鈴木市長から「プレッシャーを感じず、力を発揮して」と激励された鈴木さん(左)

7月24日(日)

三河湾の観光資源
発掘・再発見！

伊良湖・蒲郡間を高速船で結ぶ社会実験
が行われました。約1時間で両地区を結ぶ航路のニーズなどを分析しようといわれたこの取り組み。計6便に乗船した延べ184名は、両地区で野菜の収穫体験(伊良湖)や三河木綿織り体験(蒲郡)などのツアーを楽しみました。

7月24日(日)

節電・エコを
身近に感じて

「節電」をテーマに**たはらエコフェスタ2011**が田原文化会館1帯で開催されました。モリゾーとキッコロが参加した「打ち水キケンペン」をはじめ、エコ関連企業のブース出展や工作教室などが行われ、家族連れなど約3500名の来場者でにぎわいました。

7月21日(木)

全国の舞台で
栄冠を目指す

全国高校総体(岩手県北上市「8/3」)の「陸上男子走り幅跳び」に出場を決めた鈴木舜也さん(成章高校2年)が、市長を表敬訪問しました。鈴木さんは、「やれることはすべてやった。悔いを残さないように全力を出し、入賞したい」と意気込みを語りました。

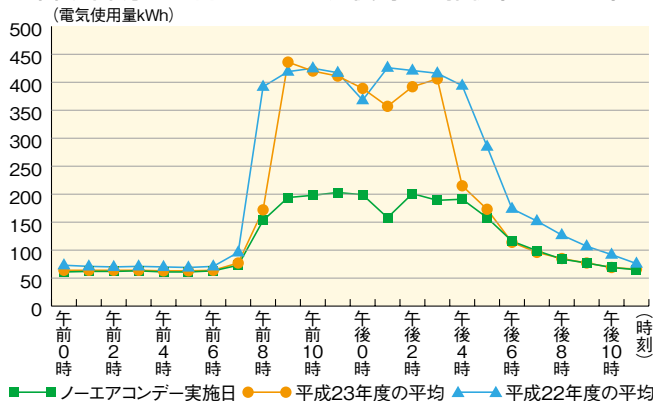
広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●ピーク時は工夫を重ねて節電を！ 市役所本庁舎の節電実績

市役所本庁舎では、電気使用量のピークカットを推進し、消費電力総量についても前年度比15%の削減を目指しています。ノーエアコンデーの実施（7月7日）、空調稼働時間の変更（2時間短縮）などによる節電の実績を報告します。

■市役所本庁舎の一日あたりの電気使用量の推移(7/1～15)



♥7月1日～15日の一日あたりの

電気使用量(平均値)

平成23年度	4403 kWh
平成22年度	5283 kWh
※前年度と比べた節電量は880 kWhで17%削減できました。	

♥市役所での取り組み(9月30日まで)

- ノーエアコンデー（気温28℃以下）
 - 空調稼働時間の変更（2時間短縮）
 - 節電強化アワーの設定
 - 会議時間のスリム化
 - エレベーター基停止（南庁舎）
 - 昼休み時間の変更（1時間遅らせ、午後1時～2時）
- ※事務室の照明などを消しますが、これまでの昼休みと同様に、窓口業務は行っています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人1511人・事業所70か所(7月末現在)

▼田原市節電対策本部事務局

(エコエネ推進室)

☎23局7401 FAX23局0180

◆回収場所

回収施設	回収時間
田原市役所(北庁舎大会議室前)	8:30～17:00
赤羽根市民センター	
渥美支所	
東部資源化センター	8:30～12:00 13:00～16:30
赤羽根環境センター	
渥美資源化センター	
フードオアシスあつみ田原店	9:30～21:00 9:30～19:30 9:30～20:00
フードオアシスあつみ福江店	
ショッピングセンターレイ	
酒蔵トウカイ	

◆回収している油

植物性油(なたね油、キャノーラ油、コーン油、米油、大豆油、ごま油、綿実油、落花生油、ひまわり油、サフラワー油、べに花油、オリーブ油など) ※家庭用のみ

地球温暖化防止と環境にやさしい資源循環型社会を目指して、7月から家庭の廃食用油(天ぷら油など)の回収を始めました。ぜひ、家庭の使用済みの油をお出ください。



◆回収方法

- ① 固形物(ティンカスなど)を取り除く。
- ② 油を冷ました後、ペットボトルなど密閉できる容器に入れ、キャップをしっかり閉める。
- ③ 回収箱に、廃食用油を入れたペットボトルなどを立てて入れる。



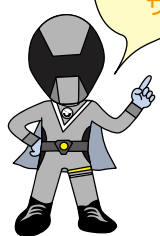
※賞味期限切れの油は、未開封の状態です。また、びんに入っているものは、お手数ですがペットボトルなどに詰め替えてください。

回収した廃食用油は、バイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルし、市の公用車などの燃料として使用します。

廃食用油をリサイクルしよう！

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180



省資源とリサイクル
けいじばん 40

ゴミゴミとリサイクルランジャー

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

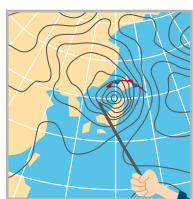
ジョージタウン市の中学生と高校生が田原市にやって来ました。市内での滞在の様子をご紹介します。

昨年、姉妹都市提携20周年を迎えた田原市とジョージタウン市は、このような形でますます交流が深まっています。



【上】クラスの仲間と
記念撮影【下左から】
給食体験・剣道に挑戦

日本の南海上などで、大量の水蒸気が上昇することで発生しま



みんなで取り組む防災・減災

特徴

8月から10月は、台風が日本に接近しやすい時期です。気象情報に気を配りましょう。また、家の周囲を確認し、大雨や暴風への備えをしましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548





募集

WANTED

田原市臨時職員(田原市博物館) 緊急雇用創出事業



▼募集人員Ⅱ3名
▼対象Ⅱハローワークの紹介状をお持ちの方 ▼採用期間Ⅱ10月1日～平成24年3月31日 ▼勤務内容Ⅱ市内施設で資料整理、パソコン処理など ▼勤務形態Ⅱ週5日勤務(土・日曜日勤務あり)／午前8時30分～午後5時15分 ▼賃金Ⅱ時給830円
▼選考方法Ⅱ面接(詳細は後日通知)
▼申し込みⅡ9月15日(木)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入のうえ開館時間内に提出／郵送不可

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX23局3770

田原市立小・中学校 常勤・非常勤講師



▼応募資格Ⅱ次の要件をいずれも満たす方①子どもが好んで学校教育に熱心に取り組むことができる方②教員免許所持者(採用時に取得見込みの方も可) ▼受付期間Ⅱ随時(市役所勤務時間中) ▼申し込みⅡ市販の履歴書に顔写真を貼り、必要事項を記入し、教員免許を所持している方はコピーを添えて、直接または郵送にて▼学校教育課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3679 FAX22局3811

高齢者連続講座 「しおさい大学」後期 受講生

▼テーマⅡ健康づくりと生きがいのある豊かな人生をめざして ▼対象Ⅱできるだけ連続で受講できる方(60歳以上の方優先) ▼開催日／テーマⅡ表のとおり ▼場所Ⅱ【田原地区】

「しおさい大学」

開催日		テーマ
田原地区	渥美地区	
10/18☒	10/25☒	田原を築いたふるさとの偉人
11/22☒	11/15☒	自然ふれあいウォーキング
12/16☒	12/20☒	クリスマスコンサート
1/18☒	2/22☒	紅茶のいれ方講座
2/7☒	1/27☒	お料理教室
3/14☒	3/21☒	漫談大道芸と座談会

☒ syogaku@city.tahara.aich.jp

☎23局3531 FAX22局3811

▼生涯学習課



田原福祉センター・田原文化会館ほか
【渥美地区】あつみライフランド・渥美文化会館ほか ▼時間Ⅱいずれも午後1時30分～3時 ▼定員Ⅱ各70名程度 ▼受講料Ⅱ無料(ただし材料費は実費) ▼申し込みⅡ9月16日(金)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合希望地区名・住所・氏名・電話番号を明記)
▼生涯学習課

栄養生活講座 受講者

今の食生活にひと味プラスできる講座です。毎日の献立がややマンネリ気味の方、健康的な食事について知りたい方にお勧めです。

▼対象Ⅱ市内在住で、全5回参加できる方(以前参加された方は除く)
▼日時Ⅱ①9月21日(水) ②10月5日(水) ③11月2日(水) ④11月16日(水) ⑤12月7日(水)／午前10時～午後1時30分 ▼場所Ⅱあつみライフランド ▼内容Ⅱ講義・調理実習など ▼定員Ⅱ20名(先着順)
▼受講料Ⅱ各回300円 ▼申し込みⅡ9月9日(金)までに電話またはFAXにて(FAXの場合は、住所・氏名・生年月日・電話番号を明記)
▼健康課(市役所内)
☎23局3515 FAX23局3810
▼健康課(あつみライフランド内)
☎33局0386 FAX33局0319



生活

「きゅうきゅう広場」を開催

9月9日は「救急の日」です。また、この日を含む1週間は「救急医療週間」と定められています。

これに合わせて、「きゅうきゅう広場」を開催します。この機会に应急演练を身につけませんか。申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

▼日時 9月10日(土) 午前11時～午後2時
▼場所 ショッピングタウン パオ(1階中央広場)
▼内容 消防職員による心肺蘇生法デモンストラクション、訓練人形を使用した心肺蘇生法・AEDの体験(体験者には記念品を差し上げます)、パネル展示

▼消防署
☎23局4075 FAX23局2440

愛知県防災航空隊ヘリコプター合同訓練を行います

消防署と愛知県防災航空隊ヘリコプターが、合同で救助訓練を実施し

ます。

訓練中は騒音が発生し、また安全のため訓練会場への立入り制限を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

▼日時 9月6日(火) 午前10時～正午ごろ
▼場所 赤羽根文化広場
▼その他 雨天・荒天の場合は、訓練を中止します。

▼消防署赤羽根分署
☎45局4119 FAX45局4120

第4回危険物取扱者試験

▼種類 乙種全類・丙種 一般
▼日時 10月10日(月・祝)

▼場所 名古屋市内
▼申し込み ①8月29日(月)～9月7日(水)の期間に市役所消防課または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ郵送②8月26日(金)午前9時～9月4日(日)午後5時の期間に財団法人消防試験研究センターホームページにて電子申請

▼その他 テキストおよび事前講習会については、お問い合わせください。

●財団法人消防試験研究センターホームページ
HP <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

▼消防課
☎23局4074 FAX23局0180

東日本大震災義援金募集結果(経過報告)

田原市では、日本赤十字社田原市地区として、東日本大震災の義援金を募集しています。今までに、市民の皆さんのほか、自治会、各種団体、事業者の方などから多くの義援金をいただいております。いただいた義援金は、日本赤十字社へ送金し、被災市町村を通じて、被災された方々へ全額渡されます。

引き続き義



援金の募集に、ご協力をお願いいたします。

◆日赤送金額(平成23年7月29日現在)
2522万4522円

▼日本赤十字社田原市地区(福祉課)
☎23局3512 FAX23局3545

6月10日は「下水道の日」

■下水道接続にご協力を!

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。下水道を使える区域でまだ接続をしていない方は、接続に

ご協力ください。

■異物を流さないで!

下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。水洗便器に、トイレトーパー以外のものを流さないようにしましょう。

最近、下水道の汲み上げポンプに、パンツやおしぼりなどがつまり、修理することが多くなっています。



▼下水道課
☎23局3525 FAX22局3184

全国斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間

虐待など、高齢者・障害者の人権にかかわる悩みごと、心配ごとなどの相談に応じます。相談内容の秘密は固く守られますので、ひとりごちまず、お気軽にご相談ください。

▼日時 9月5日(月)～11日(日) 午前8時30分～午後7時(土・日曜日は午前10時～午後5時)

▼相談担当者 人権擁護委員

◆相談専用電話

☎(0570)003局110

▼名古屋法務局人権擁護部
☎(052)952局8111

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

其の
125



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

伝説の島 姫島②

5月のある日曜日、姫島を訪れる機会がありました。降り立ったのは島の東岸で、岩が崩れ落ち、波に洗われて丸くなった石が海岸に広がり、藍色に輝く美しい風景でした。いっぽう島の西側は、姫島の骨格を作っている岩が崖となつて露出し、それが崩れて岩礁となつていました。この姫島の骨格を作る地質は、笠山と同じ蛇紋岩と呼ばれる変成岩です。藍色に輝く石の正体は、この蛇紋岩だったのです。



▲姫島の西海岸から笠山方面を望む

江戸時代、姫島では田原藩が軍用の馬を飼育していました。しかし放牧していたためか、飼育・調教技術が悪かったのか、何度試みても使い物にならなかったそうです。その後、1727年を最後に、田原藩は馬の飼育をやめたようです。

自然豊かな姫島は、古くから人々に自然の恵みをもたらしていました。江戸時代の『田原城主考』と呼ばれる歴史書には、姫島（飛馬嶋）の産物として、駒（若い馬）、小海羅（こぶのり・鴨頭海苔）、蛸（アサリ）、藻江澤（モズク）が挙げられています。今でも姫島のアサリは地元の方でもおいしいことで有名です。また海防政策に力を入れていた田原藩は、大



▲田原藩主三宅康明が描いた「姫島駒」(個人蔵)

砲試射や銃陣訓練を盛んに行いました。天保14年（1843）には波瀬町の雷電神社（波瀬台場）から、姫島を的に大砲を打ち、このときに姫島は火事になったそうです。太平洋戦争の折にも、射撃訓練によって島が焼けたという話もあり、無人島ゆえの災難でした。その後は島に畑が作られたため、現在でも風除けに植えられたヒサカキやイヌマキ、石垣で仕切られた畑の区画などを確認できます。不便な無人島にまで、耕作の地を求めた当時の人々のくらしぶりに思いを馳せてしまいます。昭和40年代には観光開発が計画されましたが、具体的には行われないうまま現在に至っています。このことが、姫島の自然環境が守られた理由

のひとつです。昭和43年にも山火事があり、大半の樹木が焼けたため植生にも大きな影響を受け、ネザサに覆われてしまいました。しかし相変わらず貴重な植物や、大きな木も残っています。

姫島は田原市の歴史や豊かな自然を伝える大事な島です。昭和57年には、伊良湖自然科学博物館が総合的な自然環境調査を行いました。しかし、調査が不十分な分野もあるうえ、すでに30年近くも経過し、その後の環境変化も著しいので、現況を調査する必要があると思います。

現在生きる私たちが、姫島の歴史や自然を楽しむことも大切ですが、次の世代に伝えていくためにも、節度ある保全を考える必要があります。

（増山）

今月の「表紙」

▼真夏の暑さをものともせず、鮮やかに咲くヒマワリ。撮影に行ったヒマワリ畑には、いろんな方向を向いたヒマワリがあり、「あれ？」と思った私。調べてみたら、太陽の方を向くのは、若い枝や小さなつぼみのときだけ。咲いた花は一方向を向いたままになるそうです。今まで知りませんでした。(O)

【表紙の写真】ヒマワリ畑(サンテバルクたはら)